

和歌山工業高等専門学校				メカトロニクス工学専攻				開講年度		平成24年度 (2012年度)					
学科到達目標															
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数								担当教員	履修上の区分
						専1年				専2年					
						前		後		前		後			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	必修	時事英語	0001	学修単位	2	2								森岡 隆	
一般	必修	実用英会話	0002	学修単位	2			2						森岡 隆	
一般	選択	ビジネスコミュニケーション	0003	学修単位	2	2								和田 茂俊,宮本 克之	
一般	選択	テクニカルライティング	0004	学修単位	2			2						森川 寿	
専門	選択	数理統計学	0005	学修単位	2			2						伊勢 昇	
専門	選択	数理工学	0006	学修単位	2	2								濱田 俊彦	
専門	選択	数値計算・解析法	0007	学修単位	2			2						山東 篤	
専門	選択	量子力学	0008	学修単位	2	2								溝川 辰巳	
専門	選択	情報理論	0009	学修単位	2			2						謝 孟春	
専門	選択	センサー工学	0010	学修単位	2	2								栗山 敏秀	
専門	選択	応用エネルギー工学	0011	学修単位	2			2						竹下 慎二	
専門	選択	環境分析	0012	学修単位	2			2						林 純二郎	
専門	選択	環境化学工学	0013	学修単位	2	2								森田 誠一	
専門	選択	環境アセスメント	0014	学修単位	2			2						鶴巻 峰夫	
専門	選択	線形代数	0015	学修単位	2	2								秋山 聡	
専門	必修	工学特別実験	0016	学修単位	4	2		2						津田 尚明,榎原 恵蔵,北澤 雅之,西本 圭吾,山吹 巧一	
専門	必修	工学特別ゼミナール (1年次)	0017	学修単位	2	1		1						津田 尚明,西本 圭吾,榎原 恵蔵,佐久間 敏幸,北澤 正憲	
専門	必修	特別研究 I	0018	学修単位	4	2		2						津田 尚明,榎原 恵蔵,謝 孟春,山吹 巧一,佐久間 敏幸	
専門	選択	計測制御工学	0019	学修単位	2			2						古金谷 圭三,岡部 弘佑	
専門	選択	パワーエレクトロニクス特論	0020	学修単位	2			2						山吹 巧一	
専門	選択	材料科学	0021	学修単位	2	2								榎原 恵蔵	
専門	選択	精密加工学	0022	学修単位	2			2						西本 圭吾	
専門	選択	生産工学	0023	学修単位	2	2								古金谷 圭三,佐々木 俊明	
専門	選択	信号処理理論	0024	学修単位	2			2						岩崎 宣生	

専門	選択	インターンシップ	0025	学修単位	2	1	1					津田 尚明	
一般	必修	技術者倫理	0026	学修単位	2							2	後藤 多 栄子 田村 敏雄
一般	選択	現代アジア論	0027	学修単位	2					2			赤崎 雄一
専門	選択	物性物理	0029	学修単位	2					2			直井 弘之
専門	選択	創造プログラミング	0030	学修単位	2					2			謝 孟春
専門	選択	環境マネジメント	0031	学修単位	2							2	鶴巻 峰夫
専門	必修	工学特別ゼミナール (2年次)	0032	学修単位	2					1		1	北澤 雅之 津田 尚明 西本 圭吾 榎原 恵蔵 謝 孟春 山吹 巧一 佐久間 敏幸 山口 利幸 青山 欽生
専門	必修	特別研究Ⅱ	0033	学修単位	10					5		5	津田 尚明 榎原 恵蔵 謝 孟春 山吹 巧一 佐久間 敏幸 山口 利幸
専門	選択	ロボット工学	0034	学修単位	2					2			津田 尚明
専門	選択	インターンシップ	0035	学修単位	2					1		1	津田 尚明
専門	選択	機能材料学	0036	学修単位	2							2	山口 利幸
専門	選択	熱流体工学	0037	学修単位	2					2			大村 高弘
専門	選択	応用電子回路	0038	学修単位	2					2			岡本 和也
専門	選択	情報伝送工学	0039	学修単位	2					2			森 徹

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	現代アジア論	
科目基礎情報							
科目番号	0027			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	メカトロニクス工学専攻			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	プリントを配布						
担当教員	赤崎 雄一						
到達目標							
国際的視野を持った技術者をめざし、日本とアジア諸国とのつながりから、宗教・多民族社会など異文化を理解することができる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
日本とアジア諸国とのつながりを理解する		日本とアジア諸国とのつながりを理解できる		日本とアジア諸国とのつながりを基本的に理解できる		日本とアジア諸国とのつながりを理解できない	
アジア諸国の宗教・社会を理解する		アジア諸国の宗教・社会を理解できる		アジア諸国の宗教・社会を基本的に理解できる		アジア諸国の宗教・社会を理解できない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	アジア諸国の抱えるさまざまな社会・経済問題を、歴史的背景を重視しながら解説する						
授業の進め方・方法	プリント、視聴覚教材を用いて講義し、授業の途中で課題を与え、レポートとして提出させる。与えられたテーマで発表を行う						
注意点	日頃からアジアに関するニュースに関心を持つこと						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	アジアと私たち		授業内容を理解できる		
		2週	近代日本のアジア進出－日本商品の販売－		授業内容を理解できる		
		3週	戦後、日本企業のアジア進出		授業内容を理解できる		
		4週	中国の経済		授業内容を理解できる		
		5週	上海史		授業内容を理解できる		
		6週	NIESの政治と経済-韓国と台湾		授業内容を理解できる		
		7週	消費市場としてのアジア		授業内容を理解できる		
		8週	学生による報告（1）		アジアに関するテーマで報告できる		
	2ndQ	9週	学生による報告（2）		アジアに関するテーマで報告できる		
		10週	インドネシアの政治と経済		授業内容を理解できる		
		11週	マレーシア・シンガポールの政治・経済と観光		授業内容を理解できる		
		12週	開発と環境		授業内容を理解できる		
		13週	東南アジアの宗教事情（1）		授業内容を理解できる		
		14週	東南アジアの宗教事情（2）		授業内容を理解できる		
		15週	全体のまとめ		授業内容を理解できる		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	小テスト		研究発表		レポート		合計
総合評価割合	60		30		10		100
配点	60		30		10		100